

# 1 平成 24 年における工業生産活動

## (1) 生産の動向

生産指数(原指数)は、前年比 3.4%上昇  
 四半期別(季節調整済指数)では、第2四半期まで上昇し、その後は低下、上昇

平成 24 年の生産指数(原指数)は、99.9 で前年比 3.4%の上昇となった。  
 業種別の前年比でみると、輸送機械工業(26.7%)、情報通信機械工業(20.0%)など9業種が  
 上昇となった。一方、ゴム製品工業(△22.7%)、生産用機械工業(△20.2%)など13業種が低下  
 となった。

寄与度でみると、輸送機械工業(3.8%)、情報通信機械工業(1.2%)などが主な上昇要因であ  
 った。

平成 24 年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第2四半期まで上昇し、第3四半期は低下、  
 第4四半期は上昇となった。

(図1、図2、表1)

図1 生産指数の推移(平成22年平均=100.0)

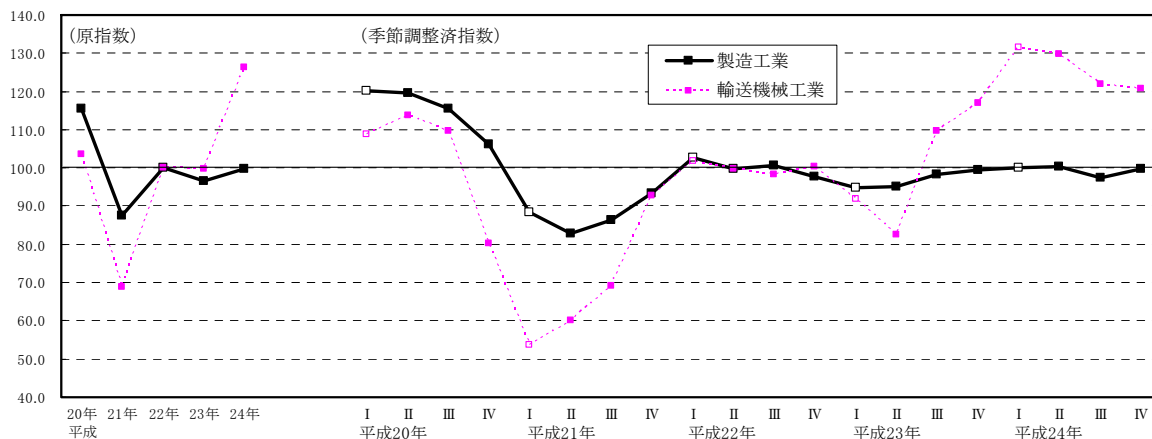


図2 生産指数対前年比の業種別寄与度

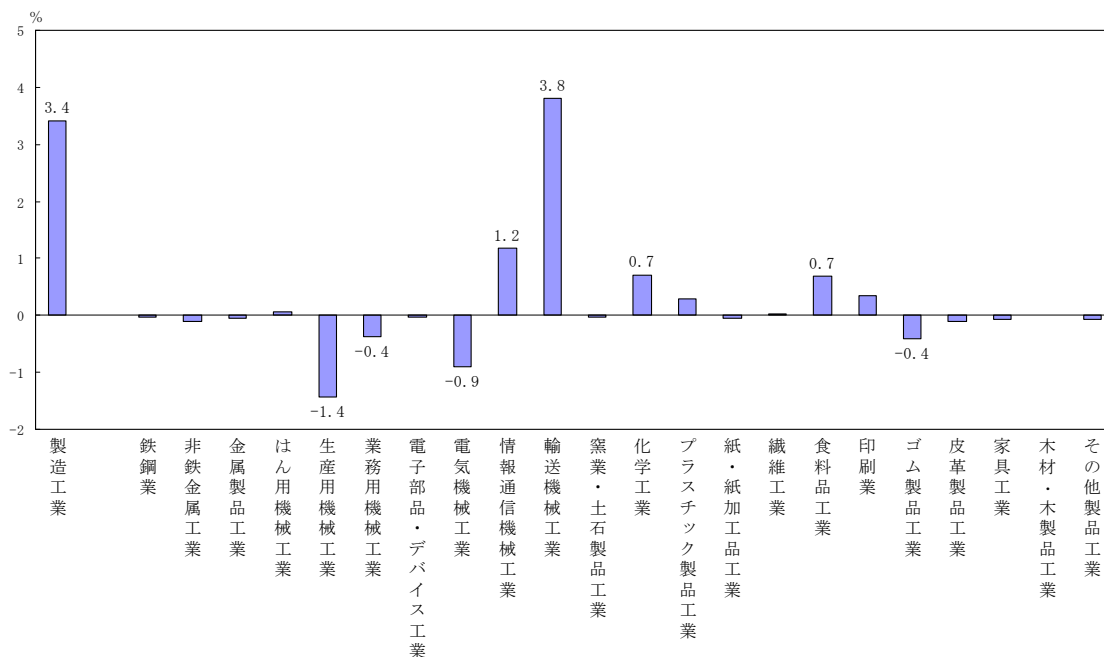


表1 業種分類別及び特殊分類別生産指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成23年	平成24年	前年比	寄与度	平成24年			
					I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(業種分類別)			%	%				
製 造 工 業	96.6	99.9	3.4	3.4	100.0	100.3	97.4	99.7
鉄 鋼 業	95.5	93.3	△ 2.3	△ 0.0	98.9	98.9	91.4	84.5
非 鉄 金 属 工 業	86.0	76.6	△ 10.9	△ 0.1	79.4	73.2	76.3	76.4
金 属 製 品 工 業	99.0	97.4	△ 1.6	△ 0.1	96.9	99.2	95.4	96.8
はん用・生産用・業務用機械工業	104.2	92.1	△ 11.6	△ 1.7	90.9	97.1	88.6	90.3
は ん 用 機 械 工 業	107.7	109.9	2.0	0.1	116.7	115.0	104.3	103.3
生 産 用 機 械 工 業	109.8	87.6	△ 20.2	△ 1.4	83.2	94.6	83.0	83.5
業 務 用 機 械 工 業	95.1	87.5	△ 8.0	△ 0.4	89.4	86.7	86.6	90.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	86.9	86.4	△ 0.6	△ 0.0	86.6	78.2	84.1	91.0
電 気 機 械 工 業	95.2	88.6	△ 6.9	△ 0.9	90.5	88.0	84.7	87.5
情 報 通 信 機 械 工 業	82.1	98.5	20.0	1.2	97.4	94.9	92.5	102.7
輸 送 機 械 工 業	99.8	126.4	26.7	3.8	131.4	129.9	121.8	120.9
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	105.6	104.1	△ 1.4	△ 0.0	106.1	105.8	102.1	101.6
化 学 工 業	99.3	107.0	7.8	0.7	102.6	105.3	102.3	118.0
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	88.1	103.2	17.1	0.3	115.1	108.4	97.2	94.5
紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	102.1	95.2	△ 6.8	△ 0.1	98.0	93.0	93.5	93.3
織 維 工 業	105.1	106.9	1.7	0.0	108.7	114.6	101.6	99.7
食 料 品 工 業	97.7	107.1	9.6	0.7	102.8	106.3	106.5	108.6
印 刷 工 業	97.8	100.2	2.5	0.3	99.8	97.3	103.5	99.6
そ の 他 工 業	90.2	80.6	△ 10.6	△ 0.7	81.7	82.4	79.7	77.2
ゴ ム 製 品 工 業	74.9	57.9	△ 22.7	△ 0.4	73.7	57.9	52.1	48.3
皮 革 製 品 工 業	88.6	75.2	△ 15.1	△ 0.1	73.2	78.3	74.6	74.5
家 具 工 業	87.1	81.3	△ 6.7	△ 0.1	56.2	89.8	95.8	86.7
木 材 ・ 木 製 品 工 業	103.2	107.9	4.6	0.0	105.8	107.0	107.3	113.5
そ の 他 製 品 工 業	109.5	105.8	△ 3.4	△ 0.1	115.7	109.2	100.1	100.3
(参考系列)								
電 気 ・ ガ ス 事 業	110.0	135.4	23.1	-	139.3	116.1	129.2	143.1
産 業 総 合 (製 造 工 業 ・ 電 気 ・ ガ ス 事 業)	96.8	100.4	3.7	-	100.6	100.5	97.9	100.4
(特殊分類別)								
製 造 工 業	96.6	99.9	3.4	3.4	100.0	100.3	97.4	99.7
最 終 需 要 財	96.9	101.1	4.3	2.6	99.8	104.3	97.5	101.1
投 資 財	100.6	102.3	1.7	0.7	102.3	105.7	98.9	98.2
資 本 財	99.7	101.2	1.5	0.5	100.5	105.0	98.1	96.7
建 設 財	108.7	113.1	4.0	0.2	116.6	113.2	107.0	113.2
消 費 財	91.1	99.3	9.0	2.0	97.9	97.2	96.2	106.2
耐 久 消 費 財	81.3	90.1	10.8	0.9	92.0	92.1	84.7	94.7
非 耐 久 消 費 財	98.3	106.1	7.9	1.1	101.4	105.2	103.0	114.5
生 産 財	96.0	98.0	2.1	0.8	99.8	97.2	97.4	96.5
鉱 工 業 用 生 産 財	93.9	95.4	1.6	0.3	99.1	95.1	92.9	93.4
そ の 他 用 生 産 財	98.6	101.1	2.5	0.5	99.8	99.3	103.3	100.5

注) 網かけは、22業種を示す。

(2) 出荷の動向

出荷指数(原指数)は、前年比 2.8%上昇  
 四半期別(季節調整済指数)では、第2四半期に上昇し、その後は低下、上昇

平成 24 年の出荷指数（原指数）は、98.6 で前年比 2.8%の上昇となった。  
 業種別の前年比でみると、輸送機械工業（26.0%）、情報通信機械工業（15.9%）など 9 業種で  
 上昇となった。一方、ゴム製品工業（△25.4%）、生産用機械工業（△23.6%）など 13 業種が低  
 下となった。

寄与度でみると、輸送機械工業（4.0%）、情報通信機械工業（1.4%）などが主な上昇要因であ  
 った。

平成 24 年の四半期別指数（季節調整済指数）は、第 2 四半期に上昇し、第 3 四半期は低下、第  
 4 四半期は上昇となった。

(図 3、図 4、表 2)

図3 出荷指数の推移 (平成 22 年平均=100.0)

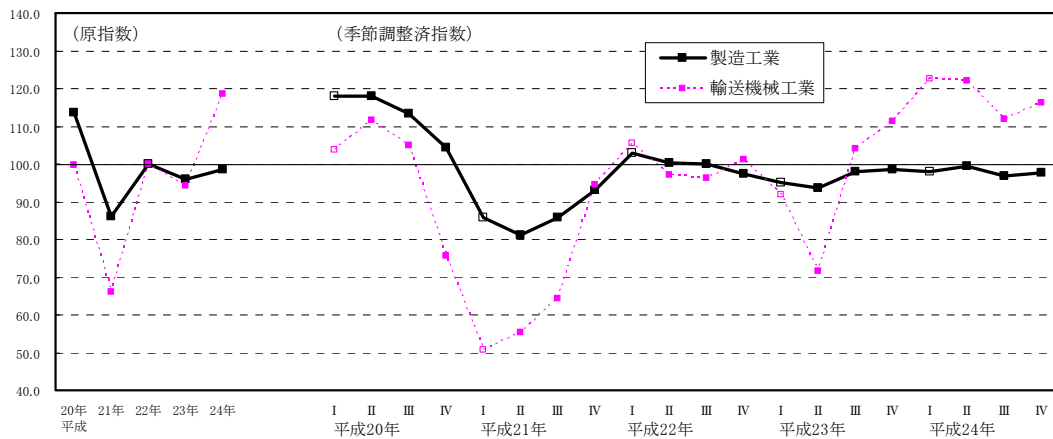


図4 出荷指数対前年比の業種別寄与度

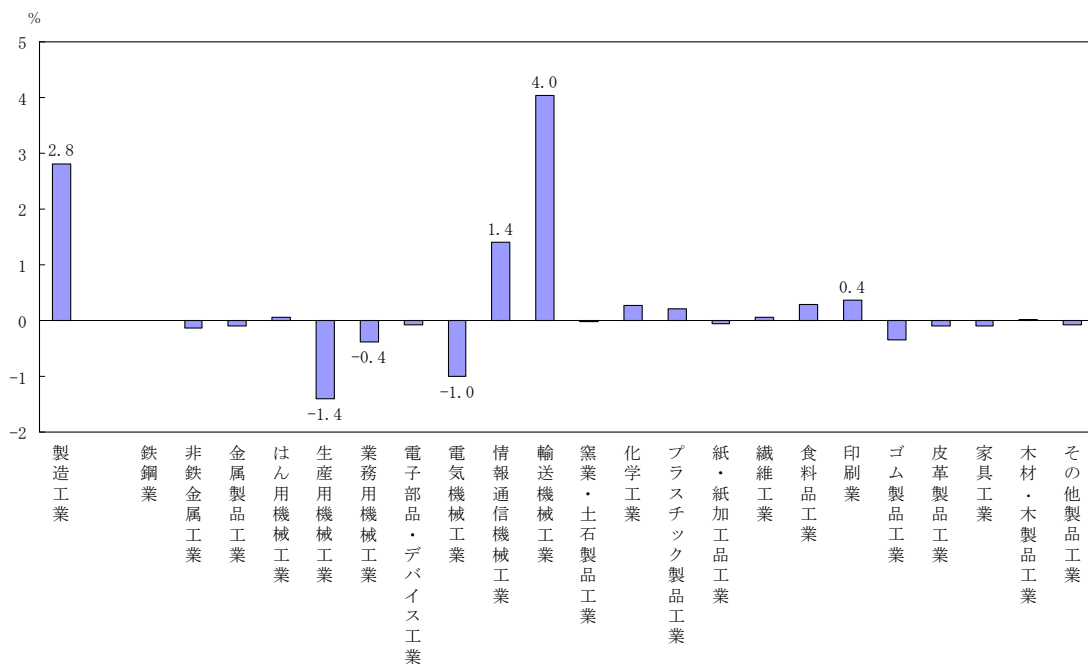


表2 業種分類別及び特殊分類別出荷指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成23年	平成24年	前年比	寄与度	平成24年			
					I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(業種分類別)			%	%				
製 造 工 業	95.9	98.6	2.8	2.8	97.9	99.5	96.9	97.7
鉄 鋼 業	96.2	95.8	△ 0.4	△ 0.0	101.2	100.2	93.7	88.0
非 鉄 金 属 工 業	84.5	75.5	△ 10.7	△ 0.1	77.0	73.9	73.3	77.2
金 属 製 品 工 業	98.5	95.2	△ 3.4	△ 0.1	96.4	96.2	93.5	93.8
はん用・生産用・業務用機械工業	104.4	90.3	△ 13.5	△ 1.7	88.8	94.3	85.6	89.9
はん用機械工業	104.3	106.2	1.8	0.0	112.0	113.4	101.2	98.5
生産用機械工業	108.9	83.2	△ 23.6	△ 1.4	82.5	91.4	77.6	75.4
業務用機械工業	98.5	89.4	△ 9.2	△ 0.4	84.9	81.4	89.1	101.0
電子部品・デバイス工業	88.1	86.7	△ 1.6	△ 0.1	74.1	81.7	91.0	95.1
電気機械工業	97.9	90.5	△ 7.6	△ 1.0	92.2	90.4	86.9	88.8
情報通信機械工業	84.8	98.3	15.9	1.4	96.3	97.0	96.2	96.2
輸送機械工業	94.1	118.6	26.0	4.0	122.7	122.1	111.8	116.1
窯業・土石製品工業	105.5	103.6	△ 1.8	△ 0.0	102.6	103.0	103.3	103.9
化学工業	99.9	104.6	4.7	0.3	102.2	104.5	99.5	112.2
プラスチック製品工業	89.2	98.8	10.8	0.2	109.8	101.4	94.6	91.0
紙・紙加工品工業	102.3	95.3	△ 6.8	△ 0.1	97.4	96.0	93.8	94.9
繊維工業	104.1	109.5	5.2	0.1	111.9	117.7	103.7	101.7
食料品工業	100.7	104.8	4.1	0.3	103.6	103.5	105.5	105.4
印刷工業	97.7	100.2	2.6	0.4	99.8	97.3	103.4	99.5
その他の工業	91.2	82.4	△ 9.6	△ 0.6	82.0	84.7	82.7	80.2
ゴム製品工業	76.3	56.9	△ 25.4	△ 0.3	67.4	58.6	52.6	50.6
皮革製品工業	90.2	78.2	△ 13.3	△ 0.1	82.4	77.8	77.0	77.6
家具工業	87.0	79.4	△ 8.7	△ 0.1	55.0	88.1	90.1	86.3
木材・木製品工業	103.7	112.2	8.2	0.0	110.8	121.3	108.7	115.8
その他の製品工業	102.2	99.4	△ 2.7	△ 0.1	108.9	99.9	98.7	94.1
(参考系列)								
電気・ガス事業	109.8	135.0	23.0	-	138.9	116.0	128.9	142.6
産業総合(製造工業、電気・ガス事業)	96.1	99.4	3.4	-	98.8	99.9	97.7	98.6
(特殊分類別)								
製 造 工 業	95.9	98.6	2.8	2.8	97.9	99.5	96.9	97.7
最 終 需 要 財	95.9	99.2	3.4	1.9	97.5	102.7	96.2	97.6
投 資 財	98.7	99.6	0.9	0.3	98.6	102.1	96.7	94.5
資 本 財	98.0	98.8	0.8	0.3	97.2	102.5	96.0	94.1
建 設 財	106.9	108.1	1.1	0.0	111.6	106.9	104.2	107.4
消 費 財	91.1	98.6	8.2	1.6	97.7	97.6	96.4	102.4
耐 久 消 費 財	83.6	94.5	13.0	1.3	93.5	91.4	91.6	101.6
非 耐 久 消 費 財	100.6	103.6	3.0	0.3	102.3	104.1	100.6	107.6
生 産 財	95.8	97.9	2.2	0.9	97.9	97.4	97.7	96.5
鉱工業用生産財	93.8	96.1	2.5	0.6	96.3	96.1	95.4	95.4
その他用生産財	98.6	100.4	1.8	0.3	100.8	98.4	102.0	99.2

注) 網かけは、22業種を示す。

### (3) 在庫の動向

在庫指数(原指数)は、前年末比 9.4%上昇  
 四半期別(季節調整済指数)では、第2四半期に低下、その後は上昇

平成24年の在庫指数(原指数)は、123.6で前年末比9.4%の上昇となった。  
 業種別の前年末比で見ると、情報通信機械工業(78.7%)、ゴム製品工業(68.6%)など11業種が上昇となった。一方、生産用機械工業(△43.4%)、木材・木製品工業(△41.6%)など10業種が低下となった。

寄与度で見ると、情報通信機械工業(8.8%)、輸送機械工業(3.6%)などが主な上昇要因であった。

平成24年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第2四半期に低下した後、第3四半期以降は上昇となった。

(図5、図6、表3)

図5 在庫指数の推移 (平成22年平均=100.0)

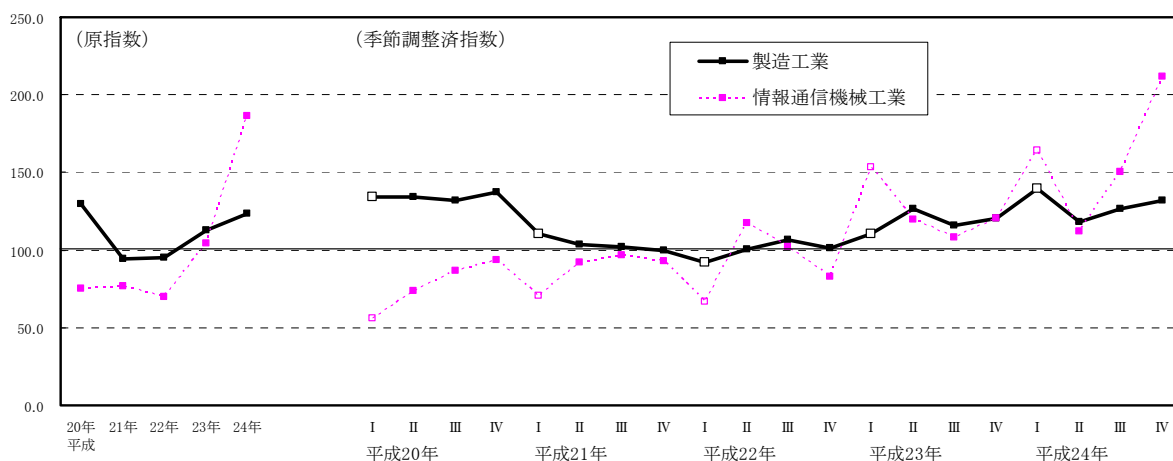


図6 在庫指数対前年末比の業種別寄与度

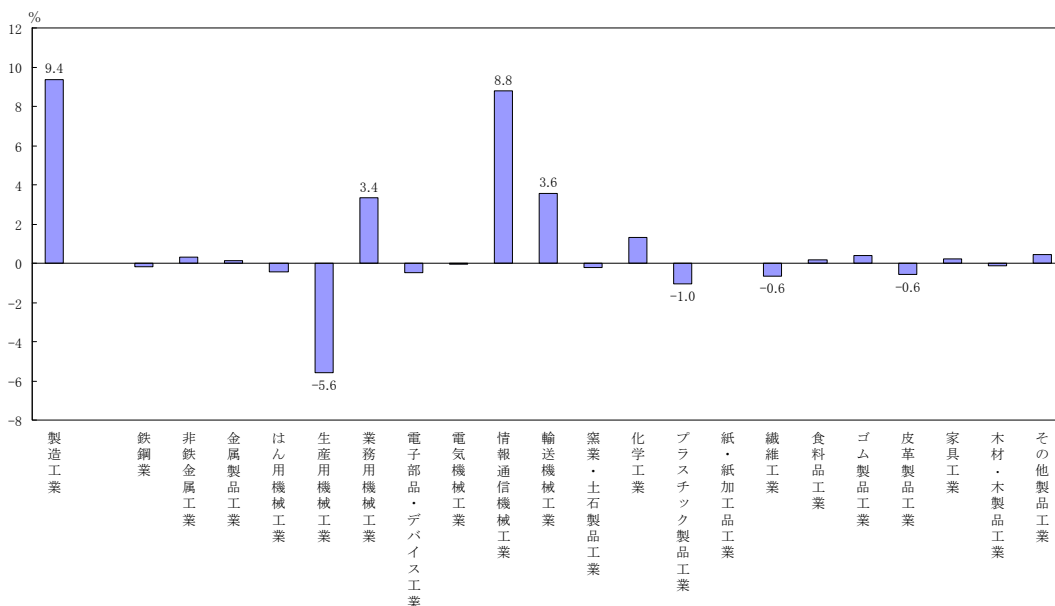


表3 業種分類別及び特殊分類別在庫指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成23年	平成24年	前年末比	寄与度	平成24年			
					I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(業種分類別)			%	%				
製 造 工 業	113.0	123.6	9.4	9.4	139.2	118.3	126.4	131.6
鉄 鋼 業	93.0	84.5	△ 9.1	△ 0.2	90.6	89.5	85.1	84.4
非 鉄 金 属 工 業	112.4	123.8	10.1	0.3	115.4	117.3	124.1	123.4
金 属 製 品 工 業	47.9	51.2	6.9	0.1	43.2	52.6	50.9	50.8
はん用・生産用・業務用機械工業	147.3	134.1	△ 9.0	△ 2.6	155.1	107.9	129.9	129.0
は ん 用 機 械 工 業	91.0	66.6	△ 26.8	△ 0.4	86.8	86.2	79.6	68.5
生 産 用 機 械 工 業	204.4	115.7	△ 43.4	△ 5.6	209.2	49.2	138.8	119.4
業 務 用 機 械 工 業	125.5	153.6	22.4	3.4	130.5	133.4	129.3	151.9
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	164.8	147.1	△ 10.7	△ 0.5	163.2	198.9	153.3	139.7
電 気 機 械 工 業	106.1	105.7	△ 0.4	△ 0.0	119.8	114.9	112.2	114.2
情 報 通 信 機 械 工 業	104.1	186.0	78.7	8.8	163.9	112.1	150.1	211.6
輸 送 機 械 工 業	116.6	145.6	24.9	3.6	226.1	162.0	174.4	173.1
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	101.3	93.4	△ 7.8	△ 0.2	112.9	117.6	105.5	98.3
化 学 工 業	89.6	112.3	25.3	1.3	128.4	121.4	124.3	116.7
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	113.1	88.8	△ 21.5	△ 1.0	109.1	112.8	92.1	92.4
紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	96.1	96.7	0.6	0.0	101.3	92.1	106.6	99.3
織 維 工 業	266.9	226.5	△ 15.1	△ 0.6	260.7	238.8	234.9	226.7
食 料 品 工 業	64.8	81.4	25.6	0.2	109.6	96.3	86.6	120.3
そ の 他 工 業	74.6	78.1	4.7	0.4	82.2	85.8	88.3	84.6
ゴ ム 製 品 工 業	15.3	25.8	68.6	0.4	52.4	56.9	56.8	43.0
皮 革 製 品 工 業	95.6	69.8	△ 27.0	△ 0.6	72.0	70.8	71.7	67.5
家 具 工 業	73.5	95.2	29.5	0.2	75.2	68.0	88.4	94.9
木 材 ・ 木 製 品 工 業	105.2	61.4	△ 41.6	△ 0.1	96.7	79.9	71.8	60.5
そ の 他 製 品 工 業	125.6	138.5	10.3	0.5	122.0	134.0	136.7	133.8
(特殊分類別)								
製 造 工 業	113.0	123.6	9.4	9.4	139.2	118.3	126.4	131.6
最 終 需 要 財	111.6	120.9	8.3	6.2	141.7	112.8	123.8	129.3
投 資 財	137.2	147.9	7.8	3.8	185.4	134.8	146.6	156.4
資 本 財	142.1	158.3	11.4	5.0	200.2	140.6	155.2	167.9
建 設 財	101.8	74.0	△ 27.3	△ 1.2	94.8	97.1	82.5	76.0
消 費 財	83.4	91.2	9.4	2.5	98.6	91.7	96.7	97.5
耐 久 消 費 財	82.4	97.6	18.4	2.7	106.6	98.3	106.4	106.4
非 耐 久 消 費 財	84.7	83.0	△ 2.0	△ 0.2	87.0	86.3	85.1	86.8
生 産 財	115.9	116.9	0.9	0.2	129.8	130.6	125.6	121.4
鉱 工 業 用 生 産 財	117.0	117.6	0.5	0.1	129.9	131.4	125.8	121.4
そ の 他 用 生 産 財	84.0	96.1	14.4	0.1	117.5	112.7	120.3	128.5

注1) 網かけは、21業種を示す。

2) 暦年の値は当該年末値、四半期別の値は当該期末値である。

(4) 在庫循環図からみた景気動向

生産指数と在庫指数の推移を在庫循環図でみると、平成22年は全期で「在庫積み増し局面」で推移している。平成23年は全期で「在庫積み上がり局面」で推移している。平成24年は第1期で「在庫積み上がり局面」、第2期は「意図せざる在庫減局面」に推移し、第3・4四半期は、再び「在庫積み上がり局面」に推移した。

(図7、表4)

図7 在庫循環図(製造工業)

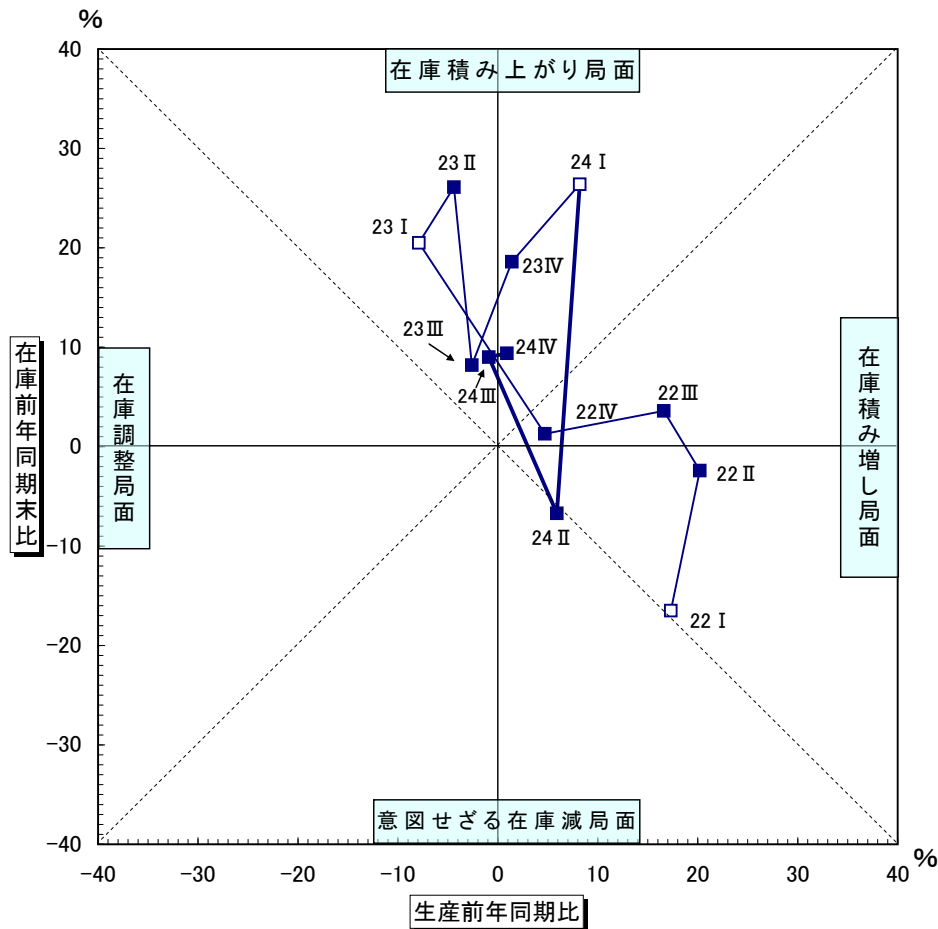


表4 生産指数と在庫指数の推移

項目	平成22年	平成23年	平成24年	平成22年				平成23年				平成24年			
				I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	100.0	96.6	99.9	106.0	93.9	101.9	98.2	97.6	89.8	99.3	99.6	105.6	95.1	98.4	100.5
前年・前年同期比	14.4	△3.4	3.4	17.3	20.2	16.6	4.7	△7.9	△4.4	△2.6	1.4	8.2	5.9	△0.9	0.9
(在庫指数)	95.3	113.0	123.6	86.4	103.0	105.7	95.3	104.1	129.9	114.4	113.0	131.6	121.2	124.7	123.6
前年・前年同期末比	1.3	18.6	9.4	△16.5	△2.4	3.6	1.3	20.5	26.1	8.2	18.6	26.4	△6.7	9.0	9.4

- 注1) 年指数、四半期指数ともに、原指数である。  
 2) 在庫循環図は下記のような在庫局面があり、一般的には反時計回りに進むとされている。
- 在庫調整局面  
意図した水準を超えた在庫を減らして在庫調整を図る。
  - 意図せざる在庫減局面  
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。
  - 在庫積み増し局面  
需要が供給より多くなると需要に対応しようと在庫を積み増す。
  - 在庫積み上がり局面  
供給が需要より多くなると意図した在庫水準を超え在庫が積み上がる。